

# 令和2年度 第1回 松野町まちづくり委員会会議録

日時：令和2年12月7日（月）13時30分～15時30分

場所：松野町コミュニティセンター 2階第2会議室

## 【委員（出席者）】

氏名	出欠	氏名	出欠	氏名	出欠
井上六廣	出	安西博文	出	岡正司	出
山口武美	出	井上忠	欠	岡部暢夫	出
山田史郎	出	藤岡正之	出	武内正紀	出
毛利達晴	出	加藤勝恵	欠	毛利峰子	出
須田正文	出	中森京司	出	—	—
村田和宏	出	谷清	出	—	—
竹内義富	出	井上重人	出	—	—

## ～ 次 第 ～

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 委員長及び副委員長の選任
- 4 協議事項
  - (1) まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について
  - (2) 松野町国土強靱化地域計画について
  - (3) その他  
※高齢者外出支援事業の実施状況について
- 5 自由討議

令和2年度第1回松野町まちづくり委員会の開催結果について

日時：令和2年12月7日（月）13:30～15:30

場所：松野町コミュニティセンター 2階第2会議室

参加委員：井上委員、山口委員、山田委員、毛利(達)委員、須田委員、村田委員、  
竹内委員、安西委員、藤岡委員、中森委員、谷委員、井上（重）委員、  
岡委員、岡部委員、武内委員、毛利（峰）委員

参加職員：友岡課長、藤本課長補佐（ふるさと創生課）

内容：概ね次のとおり。

1. 開会あいさつ（坂本町長）
2. 委員長（井上六廣）、副委員長（谷清）の選任
2. 委員長あいさつ
3. 協議事項

(1)まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について

ふるさと創生課が資料に基づき説明を行ったところ、概ね次の意見等が述べられた。

発言者	内容
委員	コロナによる影響はあったか。
事務局	今回報告した実績は令和元年度となるため大きな影響はなかったが、今年度の実績には影響が出てくると思われる。
委員	資料P22において死亡事故数欄の評価が順調となっているが、表現を変更できないのか。
事務局	表現として適切に感じられない向きもあると思われるが、評価基準の統一的な表現であるため、ご理解いただきたい。
委員	移住に関する相談等の件数について、年齢層であるとか若者、退職者等といった内訳が知りたい。 また、空家対策についてもどのような対策を講じているか知りたい。
事務局	移住相談件数の内訳については手元に資料がないため具体的な内訳は報告できないが、半数以上は若い世代であったと思う。 また、転勤等による転入は移住に当たらない等の定義もあるため、転入者全てが移住者というわけではない。 空家対策についてはタイミング等もあり難しい面もある。 この場を借りて、情報提供等の協力をお願いしたい。
委員	地域おこし協力隊は移住にはならないのか。
事務局	地域おこし協力隊は移住を前提としているため、移住である。

(2) 松野町国土強靱化地域計画について

ふるさと創生課が資料に基づき説明を行ったところ、概ね次の意見等が述べられた。

発言者	内容
委員	対策に要する予算的などころはどうか。
事務局	今回、配布している資料は概要版のため記載がないが、計画の別冊としてリスク回避のために実施する個別事業の一覧を作成している。 ただ、概算事業費等については現時点では空欄としているものもあるため、今後更新する予定である。 (参考に事前に備えるべき目標8項目に対する個別事業を抜粋して報告)
委員	想定されるリスクとして地震・風水害とあるが、コロナ対応についてはどうか。
事務局	コロナ対策に特化しているわけではないが、災害時に被災者の健康状態の把握や感染予防対策等の保健活動を速やかに実施できる体制の整備を盛り込んでいる。 災害時でなくてもこの体制整備により対応可能と考えるが、状況に応じて見直しを検討したい。
委員	事業の予算については、国・県からの交付金等もあるのか。
事務局	交付金の対象となる事業もある。
委員	5年間で実施する事業について、早々に予算を使い切った場合に予算の追加はあるのか。
事務局	5年間で概算事業費については、その期間での予算となると思うが、事業の内容等によると思われる。

(3) その他について

高齢者外出支援事業の実施状況について、ふるさと創生課が資料に基づき説明を行った。

4. 自由討議

発言者	内容
委員	本会については、今年度中に第2回以降の開催があるのか。
委員長	会の開催について年間計画を作成し、部会の開催時期等も併せて計画的に実施したほうが良いのではないかと。
事務局	今後の開催方法として、部会と全体会のどちらが良いかとか、少数のほうが意見が出やすい場合があるのではないかと等、いろいろな意見があると思う。 区長さんも委員におられるので、本会が部落の意見や事業紹介の場であってもいいと思う。

	ご意見をいただきたい。
委員長	部落の計画等をこの場で出すことが良いのかは、それぞれに意見があると思うが、どうか。
委員	以前、委員であった時に、松野町まち・ひと・しごとを作るとして、松野和牛を育ててブランド化、おさかな館隣地で松野ウナギを養牧場してブランド化等の提案をしたことがある。
委員長	こうした意見が実現できる体制を作っていってほしいと思う。 それぞれの立場で個々に意見があると思うので、まずは、部会を開催してそこでそれぞれに意見を出してもらうのがいいのではないかと思う。 今後、部会を実施し、全部会の終了後に全体会を実施する方向で計画していきたい。 (本提案に委員一同了承)
委員	総合戦略においてPDCAサイクルを実施するとしているが、努力を要すると評価された事項については、どのように努力することになっているのか。
委員長	第2次計画が始まっており、対策をとった計画にしてあると思われる。
委員	本会は、問題解決に向けて改善アクションを提案する場となるのか。
事務局	本会で決定する場とはならないが、いただいたご意見を各部署につなげていきたい。
委員	評価については数値しかなく、努力を要するものについては、今までどういうことを行い、今後どうしていくのかがわからない。
委員	現在は結果を聞くだけになってしまっている。 結果について意見を述べる立場ということでよいのか。
事務局	検証として、それぞれ意見を出していただけたらと思っている。